

伝統の「山の神勧進」 三枝地区で元気はつらつ

12月4日、三枝地区大又で江戸時代から続く伝統行事、「山の神勧進」が行われました。約40軒の玄関先で、園児から中学生までの男子6人が、五穀豊穡、家内安全を願って伝承の歌を元気に披露しました。参加した子どもの保護者は「子どもたちに地区に住む人と、伝統文化を紹介するいい機会。人数は少なくとも暖かく迎えて協力してくれるので続けていきたい」と話していました。



▲大きな声で元気に歌を唱えた子どもたち

脱炭素化に向けて NPOかねやま電雪が学習会を企画

12月4日、NPOかねやま電雪が企画した学習交流会が農村環境改善センターを会場に開催されました。「脱炭素化と再エネ・省エネの地域課題」と題し、東北芸術工科大学の三浦秀一先生をお招きし、自然エネルギーの利活用や断熱・省エネを金山町でどう取り組んでいったらよいかなどの講演をいただきました。町でも「ゼロカーボンシティ」を宣言し、温室効果ガスの削減に取り組んでいきます。



▲町議員や関係者約50名が参加して行われた

▼赤ちゃん人形で抱っこを練習する生徒と高橋助産師



命の尊さを学ぶ 乳幼児と生徒のふれあい教室

新庄南高金山校の2年生の生徒を対象に「乳幼児と生徒のふれあい教室」を開催しました。授乳相談室たかはし(新庄市)の高橋優助産師を講師に招き、赤ちゃんの成長過程やパパママになる心得などを学習した後、赤ちゃん人形で抱っこの練習を行いました。妊婦体験ジャケットを着用した男子生徒は「座るのも立つのも字を書くのもお腹が大きくて大変だった。妊婦さんはすごいと思った」と話していました。

▼ジャングルジムでポーズを決める子どもたち



金山杉と職人技術の体験 金山杉サミットを開催

12月3日、第12回金山杉サミット(山形県建築士まちづくり委員会主催)が新庄市エコロジーガーデンを会場に開催されました。参加した子どもたちは、柱に貫を差しそこにくさびを打って固定するという伝統工法のジャングルジムを職人たちと一緒に製作し、木の手触りや杉ののにおいを楽しんでいた。金山杉の素晴らしさと職人の技術に触れることができた貴重な体験となったようです。



▲三上選手から高橋選手への襷リレー

祝！丹タカさんが100歳 これからもお元気でお過ごしください

丹タカさん(荒屋)が11月28日に100歳の誕生日を迎えられ、佐藤町長からご本人に賀詞やお祝い金が贈呈されました。タカさんは大正11年生まれ。この日はご家族もお祝いに駆け付け、贈呈されたお花や賀詞を大切に抱え、みずぎ荘職員に声をかけられると嬉しそうに微笑んでいました。これからも健康に留意され長生きしてください。100歳のご長寿、おめでとうございます。



▲家族や職員に囲まれ記念すべき100歳を迎えたタカさん

まちの わだい



身近なわだい、お寄せください。
総務課 広報情報係 ☎29-5601

町内選手が出場 ヤマザワカップ駅伝大会

11月20日、ヤマザワカップ第38回山形県女子駅伝競争大会が開催され、上山ー山形間の5区間20.5キロの距離でレースが繰り広げられました。町からは、新庄・最上チームとして、須賀天音さん(山崎)、三上紗代さん(七日町)、高橋灯里さん(三枝)がメンバーに選出されました。惜しくもチーム目標である8位には届きませんでしたが三上選手、高橋選手が力走を見せチームに貢献しました。

▼受賞した松澤さん(写真中央)。おめでとうございます



「つや姫」おいしさの神コンクール 松澤さんがゴールドマイスター

最高においしい「つや姫」を生産する「山形つや姫マイスター」を決める第2回「つや姫」おいしさの神コンクールが11月22日に鶴岡市で開催されました。県内で栽培技術が高く、地域においても指導的な立場である「山形つや姫マイスター」71名の中から県内各地域予選会で代表となった計9点の「つや姫」が審査の対象となり、松澤信矢さん(持越)のお米が見事1位に輝きました。